

東日本大震災から12年

(NVNAD理事 米山清美)



3月11日

～岩手県野田村とのつながり～

「3.11東日本大震災12年 野田村ミーティング」



パブリックビューイングに見入る参加者

野田村より依頼を受け、野田村保健センター3階の復興展示室で行われた上記催しに、NVNADとして参加しました。

パネル展示では西宮と野田村の子ども達との相互交流の写真などを展示しましたが、成長し大学生となって保護者と訪れたり、成人した当時の小学生が訪ねてくれたりしました。

また会場のパブリックビューイングでは、愛知県安城市とのオンライン講演会が行われ、講師の野田保育所中村所長や野田村役場小野寺様の講演の後半に「防災アニメももたろう」の上映と説明をしました。

地震発災時刻の14時46分には、ほたてんぼうだいで行われた追悼行事に参加。13回忌を迎えられた村の方たちと共に献花をし、黙とうしました。震災から12年目ですが、亡くなった方たちの13回忌だというのは、阪神淡路大震災に遭った私たちも同じように考えます。この日は悲しみを共有する日ではないでしょうか。



追悼行事の様

- c o n t e n t s -

- P 1 . . . 東日本大震災から12年「3.11野田村ミーティング」
- P 2 . . . 被災地きずなコンサート／保育園児と見る防災アニメ／ふくしま～ろうそくに込める想い
- P 3 . . . Rijicho's column／トルコ・シリア大地震／防災マップ作成
- P 4 . . . Vision1.17／ボラセン運営訓練
- P 5 . . . 親子でわがまち探検隊／親子ぼうさい教室／春のお楽しみ会／佐用町桜まつり
- P 6 . . . 子ども防災クラブ／高木春まつり／ココロープ
- P 7 . . . 大阪マラソン2023／Nうごき・Nごよみ
- P 8 . . . 会員・寄付者・募金者のみなさま／伊丹市堤防決壊／編集後記



2月11日 「被災地きずなコンサート」

この事業は、NVNADが2019年1月に初めて西宮市立浜脇中学校体育館で実施。2020年1月からは、毎年浜脇地区青少年愛護協議会主催で開催されました。今回初めて浜脇中学校生徒会が参加し、野田村立野田中学校とオンライン交流をしました。「繋ぐ」というキーワードで、両校生徒たちはオンラインながら活発に意見交換し、参加した学校園長や地域住民を感激させました。野田中学校の生徒たちは全学年が被災体験のある最後の生徒たちで、「野田村の太陽」として村の人たちに何が出来るとかを真剣に考えていました。



2月18日 「被災地と西宮 ～保育園児と見る防災アニメ～」

2021年度に防災アニメももたろうを製作し、2022年度はそれを使った防災講座を実施してきました。年度最後は野田村保育所の子ども達とアニメを見て、保育所の先生方からは東日本大震災当時のことを聞きました。このアニメは震災当時の野田村保育所の話

おやこ防災講座



をもとにしています。先生たちのお話を聞き、改めて日ごろの備えの大切さを感じました。野田村保育所の皆さん、ありがとうございました。

このように現在も繋がりが続く西宮と野田村ですが、お互いの未来のために、特に未来を担う子どもたちのために、何が出来るとか、また何をすべきなのかを考えることが必要だと思いました。

もうひとつの 大切なつながり

《ふくしま》 ～ろうそくに込める思い～



東日本大震災から12年を迎えた3月11日、久しぶりに福島県郡山市にある復興公営住宅・東原団地に伺うことができました。皆さんが楽しみにされているハートネットふくしまさん主催のお楽しみ茶話会（毎月開催）はコロナ禍のためまだ再開されていませんが、屋外での“追悼ろうそく”は例年通り行われました。ハートネットさんが用意されたろうそくを住民の方々が手際よく3.11の形に並べ、火を灯したろうそくを前に14時46分を迎え、皆さんと黙祷を捧げました。



2011年の発災以降、ハートネットさんを通じて福島における支援活動を継続してまいりましたが、東原団地でのお手伝いもこの復興住宅が建てられた2015年から8年になります。コロナウイルスの感染拡大以降なかなか訪問が叶いませんでしたが、東原団地の方々が西宮からの支援を覚えてくださっており、嬉しいお声がけを戴くことができました。お楽しみ茶話会の再開を熱望しておられる声も多く、1日も早く以前の活動が安心して行われることを願うばかりです。

ハートネットふくしまさんのご協力のもと12年にわたり福島における支援活動に携わせていただいていることを改めて感謝申し上げます。
(NVNADスタッフ 戸口京子)

Rijicho's column

少し前のことになりますが、2月26日に行われた大阪マラソンでは、チャリティパートナーの一員として、スタッフと一緒に現地に出かけてお手伝いさせていただきました。当日は雪交じりのずいぶん寒い日でしたが、およそ3万人のランナーの皆さんが熱いレースを繰り広げられ、大いに元気をいただくとともに、そのひたむきな姿に感動いたしました。今回NVNADを支援先として大阪の街を走っていただいた5人のランナーの皆さんは、地元西宮や尼崎に加えて、遠く北海道や山形県、東京都からのご参加とのことで、災害救援や、防災・減災の取組を行っている私たちの活動に共感していただきご応募して下さいました。フルマラソンを走られるチャリティランナーの皆さんを応援させていただくつもりが、逆にランナーの皆さんから、私たちの今後の活動に力強いエールを送っていただきました。

さて、2月6日に発生したトルコ地震の際には、会員の皆さんをはじめ多くの方々から暖かいご支援をいただき誠にありがとうございます。その後も世界各地で地震が発生しておりましたが、最近になって、5月5日の石川県能登地方での地震をはじめ、鹿児島県トカラ列島や千葉県南部、北海道日高地方東部など、全国的に大きな地震が多発しております。いよいよ南海トラフ大震災が近づいてきたのではと懸念されるところです。自然災害の発生を食い止めることはできませんが、これまで30年近くにわたって皆さんとともに培ってきたノウハウやネットワークを大切にしながら、誰もが助かる社会の実現に向けて一步一步着実な歩みを進めていかなければとの思いを新たにいたしておりますので、引き続きのご支援をよろしく願います。

(NVNAD理事長 檜垣龍樹)

トルコ・シリア大地震



2月6日に発生したトルコ・シリア大地震において、犠牲になられた方々にお悔やみ申し上げますと共に、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

この度、私どもにお寄せいただいた募金の一部を、日頃から災害支援や防災啓発の取り組みなどでつながりのある神戸のNGO「CODE海外災害救助市民センター」さんにお渡しさせていただきました。CODEさんは震災直後からトルコの被災地に入るなど精力的に支援活動を展開しておられ、3月21日にはスタッフ2名が第2次派遣としてトルコに入られました。今後もCODEさんをはじめ、被災地内での活動を行っている団体の動きなどを見守りながら、困っている被災者に直接支援が

届くように支援策を検討させていただければと思います。

当初から募集をしておりました支援金ですが、3月31日をもちまして締め切らせていただきました。当団体へあたたかいご支援のお気持ち（募金）を届けてくださったNVNAD会員や寄付者の皆さまにも、この場をお借りし改めてお礼申し上げます。

防災マップ作成 尼崎市武庫地区



当団体では地区防災の取組のひとつとして、その地区ごとの防災マップの作成をお手伝いしています。今回は尼崎市武庫地区の皆さまと協力し、2/12(日)は第4連協、2/23(木)は第5連協にお住まいの方と一緒にまち歩きを行い、そのまち歩きの情報を参考に、災害時に気になる事をグループワークで話し合い、防災

マップの作成を行いました。普段何気なく歩いている場所も、災害を想定すると全く違う見方になってくるといふ意見があり、皆さんとても真剣に取り組んで下さいました。住み慣れた町の状況を改めて知ることによって、緊急時に役立つことが見つかるかも知れません。ご自身の町を歩いてみるのもいいですね。

Vision 1.17

前は、グループ・ダイナミクスについて紹介しました。グループ・ダイナミクスは、様々な人々の集まりの動きを探る学問で、心の捉え方に特徴があり、言葉によって生活を変えていこうとする研究・実践活動でした。今回と次回は、NVNADで編み出した言葉に注目してみます。言葉が防災活動や救援活動を少しずつ変えていっていることをご紹介できればと思います。

今回は「防災と言わない防災」です。今では、本や行政文書にも登場するようで、この言葉が実はNVNADで生み出された言葉だということは知られていないかもしれません。阪神・淡路大震災の時に、私は当時の大学院生と一緒に、避難所となった西宮市立安井小学校でボランティア活動をさせて頂きました。お風呂を焚いたり、救援物資を整理したり、泊まり込んで朝の準備をしたり、長い期間ではありませんでしたが、随分と濃密な時間を過ごさせて頂きました。

避難所は見事に運営されていました。さぞかし防災や救援活動に詳しい方のリーダーシップがあるのかと思っておりますと、地元の体育振興会の皆さんが運営を担っておられました。お話を伺っていきますと、災害対応に成功したのは、日常からの防災とは関係ないような活動(地域のスポーツ活動)がしっかりとなされていたからなのということがわかってきました。当時、あれほど大きな災害でしたので、世の中には、防災が大事だ、防災教育だ、防災意識の向上だといった声が渦巻いていました。確かに、防災は大事だけれども、だからといって、やれ防災意識だ、やれ防災教育だという風に声高に言う前に、まずは防災と言わないような地域活動を進めなければならないのではないかと、そし

て、それが結果的に防災になると考えました。

防災と言わない防災は、防災と言わないでやっている活動を盛り上げていくことが、結果として防災になるという考え方です。阪神・淡路大震災を経験して、どんな防災活動をしたらいいのかと悩んでいた人たちに、いまやっている(防災と言わない)活動を一生懸命に進めることが防災に繋がるというのは福音だったようで人気のフレーズになりました。

NVNADには、当時、研究班というのがありまして、私たちがそこで防災と言わない防災と言い始めていました。ようやく落ち着いてきた現場では、できるだけ多くの人々に関わってもらいながら防災を進めたいという要望がありました。そこで、NVNADでは、既存の防災活動を推進するのではなく、防災と言わないで防災ができるような独自のプログラムを作ってその普及を始めました。それが「わがまち再発見!ぼうさい探検隊」の活動です。1998年3月のことでした。

「わがまち再発見!ぼうさい探検隊」は、子どもたちが探検隊として地域を探検してマップを作る中で防災に気づいていくという表のストーリーと、子どもたちにそのような動きをしてもらうために保護者や地域の人々は事前に防災拠点などを下調べすることで、保護者や地域の人々こそが防災に参加することになるという裏のストーリーがあります。「防災と言わない」で、子どもの探検隊だと言って、子どもよりもむしろ保護者や地域の人々が「防災」に参加するという仕組みです。この取り組みは、日本損保協会、朝日新聞、ユネスコなどにご注目頂いて、今年、全国マップコンクールが第20回を迎えます。

「防災と言わない防災」という言葉が防災のあり方を少しずつ変えています。

(NVNAD副理事長 渥美公秀)

ボラセン運営訓練

2月4日(土)西宮市総合福祉センターにて、西宮市・西宮市社会福祉協議会・NVNADの3者が共同で「西宮市内で台風被害が発生した」との想定でボランティアセンターの運営訓練を行いました。ボランティア受付担当・マッチング担当・活動報告担当などそれぞれの担当に分かれ、ボランティアセンターの基本的な流れを再確認すると同時に、コロナなど感染症が蔓延している時のボランティアの受付にスマホを活用するなど、新しい取り組みについても検証しました。

2020年2月以来3年ぶりの開催となり、被災地での活動経験がないスタッフにとって、ボランティアセンターの流れの確認ができたことはとても有意義であったと思います。それと並行して、各担当者間の情報の共有のあり方やボランティアの受付について、例えば熱が出ていた場合の受入判断をどうすればいいのか、など課題点もいくつか見つかりました。今後の運営訓練につなげていければと思います。



スマホを使って受付体験 ↑



親子でわがまち探検隊

3月4日(土)、西宮の高木公園にて「親子でわがまち探検隊」が開催されNVNADも参加しました。当日は①高木公園に設置してある「防災倉庫」の資機材の点検 ②手押しポンプで水を汲み、井戸に水が流れているか確認 ③水道局による緊急貯水槽の説明と実地訓練 ④NVNADによる防災クイズを行いました。

たくさんの親子連れが、楽しく、そして真剣にプログラムに取り組んでくださいました。緊急時に助け合い、安心して過ごせるまちにするためにも、このような活動の積み重ねがとても大切であると改めて感じました。最後になりましたが、西宮市上下水道局の皆さま、ご協力ありがとうございました。



親子ぼうさい教室

@まちなかりビング北千里

3月21日(祝)、阪急北千里駅近くに昨年11月に開館した「まちなかりビング北千里」で、小学生の親子を対象にした防災教室が開催され、大阪大学災害ボランティアラボの学生さんたちと一緒にプログラムを担当させていただきました。

プログラムの前半は、ぼうさいダックのカードを使って、地震や津波、台風や水害時などに、まず最初に身を守るために取るべきポーズを全員でとってみました。後半は学生さんが中心となり、地震や水害などをテーマにした防災クイズを9問3択形式で出題し、参加者に手をあげて選んでもらいました。クイズの正解発表と共に、大切な防災ポイントについて説明を加えました。終了後のアンケートでは「とても楽しかった」「知らない防災について学べてよかった」など、楽しみながら防災について考える機会になったようで、有意義なひとときでした。



春のお楽しみ会

3月25日(土)吹田市五月が丘にある東佐井寺小学校の体育館にて「春のお楽しみ会」が開催されました。大阪大学人間科学部学生グループ「すいすい吹田」の学生さんたちと一緒に、今年も司会と各ブースのお手伝いとして参加させていただきました。当日はたくさんの高齢者の皆さんが参加され、コンサートやスプラッシュボール体験、あるいは、ノルディックウォーキング講習会や骨密度測定など、とても楽しい時間を過ごされました。

このお楽しみ会を企画いただいた、地元五月が丘地区の福祉委員会の皆様や吹田市社会福祉協議会の皆様にも感謝申し上げます。2023年度も引き続きどうぞよろしくお願ひ致します。



佐用町 桜まつり

4月2日(日)、兵庫県佐用町の笹が丘ドームにて4年ぶりに桜まつりが開催され、チャコネットの学生さんたちと一緒に参加してきました。会場にはステージや地元の名産品などの出展ブースがあり、お天気にも恵まれ、しかも桜も満開状態で、佐用町内だけではなく近隣の地域からの来場者も多く、たくさんの方で賑わっていました。チャコネットは恒例の子ども遊びコーナーとして、ヨーヨー釣りと輪投げを担当しました。たくさん子どもたちが立ち寄ってくれて、学生さんたちと楽しそうに遊んでいる姿がとても印象的でした。

今年の8月9日で水害から丸14年目を迎えます。コロナにより中止となっていたお祭りや行事なども復活されるようで、地元住民の皆様と学生さんたちとの交流の機会が増えることを願っています。



子ども防災クラブ

3月4日(土)高木北小学校にて、子ども防災クラブ(Dクラブ)の活動を行いました。今回は今年度最後の活動で、第1部は1年間の活動をクイズ形式で振り返り、第2部は学生リーダーの提案による、海外で人気のある「ジェパディー」という災害&防災の知識を合わせたクイズ大会を行い、災害&防災について楽しく学びました。最後に、卒業する6年生の修了式を行い、ひとりずつ抱負を述べてもらいました。この防災クラブで学んだことを今後何かの形で活かしてくれると嬉しいです。ご協力くださった学生リーダーの皆さん、どうもありがとうございました。



高木春まつり



4月16日(日)、西宮市の高木公園にて高木春まつりが開催され、NVNADも前回と同じく模擬店『魚釣り』で参加させていただきました。コロナ禍により中止が続いた高木まつりですが、昨年の秋、実に3年ぶりに開催されたものの、昼から本降りの雨となり繰り上げ撤収となりました。この度は少し汗ばむほどの陽気で、多くのご家族がご来場くださいました。小さいお子さまを中心に小学校高学年まで、たくさんのお子さまが『魚釣り』を楽しんでくださり、我々も元気をいただきました。



前回と同じく「魚釣り」の横で、「キフロープ」のコーナーも出店させていただきました。我々の被災地支援活動に賛同くださるボランティアさん達の手作り品は、本来そのまま被災地にお届けするものですが、販売することにより得た収益で、違った形の支援もできるのではないかとという試みです。作品を作って下さるボランティアさんの中にはプロ並みの腕前を持つ方もおられ、あまりの素敵な出来栄に、思わず足を止めて見入ってくださる方もありました。秋まつりの時の1.5倍の売り上げとなり、販売することの意義と喜びも感じています。



2月19日(日)西宮市市民交流センターにて、第6回「手作りの会」を開催しました。今回は「カレンダーを利用した紙袋づくり」です。NVNADでは過去24年間、被災地支援のためのチャリティカレンダー市を行ってきたという経緯があり、このように有効にリサイクルできることを大変嬉しく思います。きちんとした紙袋に仕上げるためには、折り紙のようにキッチリと折り上げていくことが大切で、皆さま一生懸命に取り組んでくださいました。この度も講師を引き受けくださった大川さま、材料の持参や当日の細やかなご指導に感謝申し上げます。ココロープの今後の活動について皆さまから貴重なご意見を聞かせていただくこともでき、大変有意義なひとときとなりました。ご参加くださった皆さま、どうもありがとうございました。





OSAKA MARATHON 2023



2月26日（日）、大阪マラソン大会2023が開催されました。当団体をパートナーに選んでくださったチャリティランナーさんもひたすらゴールを目指し、力の限り頑張ってくださいました。北風が吹く寒い一日でしたが、皆さんの頑張りにスタッフ一同元気をいただきました。

ケロリンさん、花田裕二さん、masutakuさん、大塚黄司さん、井上光海さん、本当に本当にお疲れ様でした。どうもありがとうございました。

Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです

(2023年2月～4月)

2月	4日	災害ボランティアパワーアップ講座（西宮市） 災害ボランティアセンター設置訓練（西宮市）	
	10日	災害ボランティア養成講座（大阪府豊能町）	
	11日	第4回被災地きずなコンサート（西宮市&岩手県野田村オンライン交流会）	
	12日	防災マップ作成会（尼崎市）	
	17日	ニュースVol.133発行	
	18日	おやこ防災講座（西宮市）	
	19日	災害ボランティア養成講座（大阪府田尻町） ココロープ「手作りの会」（西宮市）	
	23日	防災マップ作成会（尼崎市）	
	26日	大阪マラソン2023（大阪市）	
3月	4日	防災イベント（西宮市） 第3回子ども防災クラブ（西宮市）	
	5日	災害ボランティア養成講座（兵庫県市川町）	
	10日	阪神・淡路大震災と西宮YMCAを語る会（西宮市）	
	11日	野田村訪問（岩手県） 郡山市訪問（福島県）	
	19日	災害ボランティア養成講座（東大阪市）	
	21日	未来共生10周年記念事業（大阪市北区）	
	27日	親子防災教室（大阪府吹田市） 通常理事会	
4月	2日	桜まつり（兵庫県佐用町）	
	16日	高木春まつり	
	24日	NVNAD事業検討会（西宮市）	

Nごよみ

5～6月の予定・講演などのスケジュール

5月	8日	通常理事会	
	17日	ニュースVol.134発行	
	20日	NVNAD会計監査	
	21日	ココロープ「災害食調理実習」（西宮市）	
6月	7日	近畿ろうきん全体会議	
	18日	NVNAD通常総会	
	24日	関西学院大学フィールドワーク（西宮市）	
	25日	津田町まちごと防災セミナー（西宮市）	
	27日	ひょうごん総会（神戸市）	

～会員・寄付者・募金者のみなさま～

(2023年2月1日～年4月30日)

■会員のみなさま

個人正会員：「継続」北村英夫

個人賛助会員：「継続」渥美久栄、松山晋也

■寄付者のみなさま ※ココロープ宛のご寄付も含まれます。

風雪月花Snow、ひでぼー、深山操江、古塚純枝、鶴田美紀代、田守美智子、増川拓
 葛木光海、室伏美佐子、高井千珠、戸口京子、荒木正澄、朝井朋子、近畿ろうきん
 三和ホールディングス株式会社コーポレートコミュニケーション部、ヤフー株式会社
 神戸マラソンフレンドシップ、西宮ワイズメンズクラブ(YMCA)
 ソフトバンクかざして募金(寄付者)の皆様

■募金者のみなさま 刈羽中学校生徒会ボランティア部、刈羽村福祉センター、神林清道、遠藤清 室星直子、池田昌代、町田義正、佐藤辰男、長瀬節子、石黒元起、北村英夫、北村公子 五十嵐篤、大里恵子、山田和子、掛水須美枝、林亦中、宮城久代、松本清子、楊凌煙 河村信治、友野正人、新宅太郎、吉牟田康介、戸口始、河野昌弘、山添艶子、村上弘光 鶴丸克雄、市川新、星野典子、三前直美、ハツ塚としえ、城戸昇、北いわて未来ラボ 広田倫久、青木重美、渡邊一正、ナカヤマヨシユキ、マツイシゲコ、フナサカタダノリ タカハライクコ、シノダヤスコ、浜脇地区青少年愛護協議会、高木まつりご来場者様

■ご協力いただいたみなさま 株式会社高山堂

(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

なお、お振込みくださった方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

堤防決壊

兵庫県伊丹市

5月8日午前1時ごろ、大雨により市の北部を流れる天神川の堤防が決壊し、複数の住宅が水につかる被害が発生しました。状況を確認するため翌朝現地に向かったところ、川の決壊により泥が大量に流出していましたが、被害範囲は局地的で、また殆どが床下浸水でした。行政や土木関係の方々住民と一緒に泥かき作業をされていました。



編集後記

5月8日、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「新型インフルエンザ等感染症(2類相当)」から「5類感染症」へ移行しました。地域の行事やイベントなども、コロナ禍以前のように再開される場所が増えてきました。ただ、コロナウイルスがまったく無くなる訳ではないので、高齢者や基礎疾患があるなど重症化のリスクがある方や、その周りの方などは、引き続き感染対策に注意していきたいですね。(H.T)

認定特定非営利活動法人 **日本災害救援ボランティアネットワーク** [NVNAD]

〒662-0853 兵庫県西宮市津田町3-43 TEL 0798(34)9011/FAX 0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：檜垣龍樹